



みのり

No.103

創立70周年記念事業

アクト響ホール竣工

令和3年4月20日の起工から6か月、創立70周年記念事業の1つであるアクト響ホールが10月20日完成しました。

ホール内では、ご利用者の日中活動や職員の研修等、様々な活動を行うことができる創作と交流の場となっております。

また、防災備蓄倉庫並びにLPガス非常用発電設備を併設している為、災害時には避難所としての機能も完備。あらゆる場面に於いて活用が期待されます。



アクト響ホール

経営理念 Management Philosophy

花のように 優しく 誠実に

私たちはみのりの精神である慈愛・奉仕・研究を基本精神とし、地域・社会より愛され、認められる法人をめざし、社会福祉事業の担い手として、地域・社会へ貢献します。

(株)電子印刷センター

印刷

社会福祉法人 みのり村

発行者

2021年12月20日

発行日

- 1 アクト響ホール竣工
- 2 アクト響ホール落成式
- 3 設備紹介
- 4 こども発達支援
コンシェルジュに参画
- 5 私の職場リレー
- 6 新人職員入村式
- 7 収支決算 事業報告
- 8 お知らせ

掲載内容

みのり村創立70周年記念式典並びに アクト響ホール落成式御挨拶

御多忙中、そしてコロナ禍の中みのり村70周年記念式典未来へつなぐ、そしてアクト響ホール落成式にご来臨誠にありがとうございます。本来なら、各関係団体様またお世話になっている多くの方々をご招待しなければならぬのが筋ではありますが、このご時世を鑑みて、最少の人数で感染症対策を取り入れながらの式典ではございますが、無事開催ができました事を感謝申し上げます。

さて、創設者大木英正御夫婦が戦後まもなくみのり学園を開設してから70年の月日が経とうとしています。

私が事業を引き継いだのは2000年（平成12年）。社会福祉制度の大変革である介護保険が始まった年になります。2001年には白萩園の建て替え竣工落成式、そして開園50周年記念式典を白萩園交流ホールと大食堂で開催致しました。多くの来賓関係者を招いての式典と御父兄向けの式典が2回盛大に催され成功裏に終わりました。また創立60周年式典は趣向を変えて、この響ホールの東側の広場で大テントを備え式典とお祭りを催し大成功を収めました。以来10年ぶりの70周年式典でございます。

メインの記念事業であるアクト響ホール整備まで沿革史を御覧になってわかる様に各事業開設と建築整備を毎年のように実施してまいりました。特に10年前の平成23年10月児童デイサービスセンター開設と落成、平成27年9月みのり村いち押し工房落成、平成29年5月みのり学園児童発達支援センター竣工落成、平成31年3月GHドリーム新築工事落成等でございます。さ

らにその間にも各拠点の空調整備工事や、ご利用者の安全を守る為の防犯カメラを日出部や枅築部の広範囲に設置もしました。そして念願でもありました、日出部の児童入所施設から成人施設への転換。日出部の大規模施設再編にも取り組むことができました。法人内の環境面にも目を向け、災害対策としての周辺整備も行ってきており、ようやく田んぼやみかん事業にも新たな方向が見えてきました。このアクト響ホールの土地には、みかん倉庫が半世紀前から建っており、みのり村の中でも最後の古い建築構造物でありました。この響ホール整備が私の集大成に近いのではと考え、これを機に次世代に承継をとも考えも巡らしております。

また、今回のコロナ禍が更に拍車をかけましたものが、社会構造の変革の代表であるDX（デジタルトランスフォーメーション）や国連が提唱するSDGs（誰一人取り残さない）の理念の中の特にカーボンニュートラル等まさしく地球そのものが大転換の進行形です。みのり村もそれに伴う誰もが皆で助け合う村づくりを更に前進をさせていく考えです。

今回新築したアクト響ホールのリーフレットの概要はお手元にある通りです。

担当を設計して頂いた東九州設計工務株式会社様はみのり村の顧問設計士のような存在であり、私が理事長に就任してから今日まで20年間何から何まで大変お世話になり、今回のアクト響ホールも仲摩社長にご相談してから3年を経て、本日の70周年式典に間に合わせて頂き見事に完成を遂げて頂きました。

創立70周年記念式典並びにアクト響ホール落成式



感謝状贈呈（左）(株)上野建設 代表取締役社長 上野 公則様
（右）東九州設計工務(株) 代表取締役社長 仲摩 和雄様



（左）杵築市長 永松 悟様



（右）日出町長 本田博文様



ウォールアート除幕式

併設の備蓄倉庫の壁面に描かれているウォールアート。ご利用者が描いた力作が色とりどりに貼り合わされています。



有功者表彰

（左）渡辺良秋様・（中央）伊藤裕美子様



くす玉開き「祝70周年おめでとう」
（左）岩下文雄様 書（白萩園）

大変お忙しい中、関係各位の皆様方のご出席を賜り、心より御礼申し上げます。
(10月20日)

次に、施工は2年前にGHドリームを建築した実績を請い、地元の代表格である株式会社上野建設様にお願ひしました。社長自ら床掘りを初め、生コン打ちと従業員に模範を示す姿勢で、その熱意と真剣さに心を打たれました。御陰様で実に立派なアクト響ホールの竣工落成を迎える事ができました。

アクト響ホールを創ろうとしたきっかけは、次のような次第です。ホール内に掲示してある作品やこの隣にある建物にご利用者さんのアートを描いてもらったオブジェはご利用者さんやスタッフ又伊藤裕美子氏指導によるものであります。配布致しましたみのり村作品集でも分かるように前身は絵画クラブより始まり、平成16年程以前よりこの土地にあったみかん倉庫の2階として白萩園・みのり園の交流ホールで活動が地道に行われて、その後大分市のアートプラザにて毎年展覧会を行ってきました。しかし、障害者の方が高齢になり重度化する中で日中活動が今後も穏やかに続けられていく為には広くて明るい空間が必要だという事を認識し、環境面でとても良い空間であるこの場所に決定した次第です。

萩園は、昭和26年、昭和39年間に開設された施設です。から、半世紀以上入園して生活されておる方もいますので当然高齢化するの必然



挨拶をする大木理事長

であります。そして、東部圏域には入所支援施設としてはみのり学園と白萩園しかございません。法人の創設の理念は、重度者への取り組みで、人が人を大事にすることが最も大切である、という文言でした。これを更に充実させるためにも、今後知的障害の方々が高齢になっても楽しめる、また生活のリハビリにもなる場所を創造し地域の利用者さんもご利用しやすいよう地域（東部圏域）の核となる響ホールです。さらにこの建物には、コロナ感染症対策も含めた災害時に於いての非常用発電災害バルクと大規模な非常用備蓄庫を兼ね揃えた避難場所にもなるホールです。そしてこの（70周年記念事業であるこのアクト響ホール新築整備事業）他に、70周年記念誌、クレド制作、みのり村作品集・各事業所のパンフレット・法人YouTubeも併せて現在制作進行中であります。

アクト響ホールは通称・響ホールと呼んで頂ければ幸いです。様々な日中活動を通じて地域の方やスタッフ、御家族、そして地域から通所してくるであろう御利用者様同士がその活動の中で共感したり障害特性を理解したりして、響き合う社会が構築されることにより、誰もが安心して暮らせる社会創りに微力ではありますが、貢献できるのではないかと考えます。

70年の節目を期に今後、障害の方々、高齢の方々にとってこのアクト響ホールを大いに活用して頂けると幸いです。私達スタッフ一同、障害福祉の在り方を見直し、原点に立ち返り更に精進していきます。御指導御鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

令和3年10月20日

理事長 大木 隆

70周年記念事業内容

～ 4つのPT（プロジェクトチーム）で取り組んでいます～



設備紹介



ホール内

重度障がい者、発達障がい児の芸術アート創作活動や災害時の避難所として活用できます。



防災備蓄倉庫

非常時に備え生活必需品を備蓄することができます。



LPガス非常用発電設備

災害時に備えた社会的重要なインフラへの自衛的な燃料備蓄の推進事業費補助金を活用し非常用発電装置を設置しています。

みのり村児童発達支援センター「プリンちゃん」

プリンちゃんより2名のコンシエルジュを配置しました

大分県委託事業の子どもの発達支援コンシエルジュを、みのり学園児童発達支援センター「プリンちゃん」が受託しました。

この事業は、子どもの発達や福祉サービス等に関する相談を受け、関係機関へ繋ぐ、相談支援。保育施設・教育機関等を訪問し、支援の方法について一緒に検討する「訪問支援」の2つの活動を行います。

プリンちゃんでは、大分県東部圏域の障がいのある方やご家族、関係機関の方等からの相談を受け付けており、切れ目のない支援基盤の構築に努めてまいります。
(4月1日)

ペアレント・プログラムを実施
子どもと共に笑顔で送る毎日を



プログラムに参加いただいた保護者の方々

3月からプリンちゃんで開催した「ペアレント・プログラム」が5月に終了しました。全6回のプログラムを通して、お子さんの「行動」の理解の仕方を学び、楽しく子育てをする自信をつけること、子育ての仲間を見つけることを目的に行いました。
今回参加された保護者の皆さんは、プログラムが進むにつれ「子どもを褒める回数が増えてきた」と考え方や、表情にも自信が湧いてきたようでした。職員も、家庭での子どもたちの様子を知る良い機会となりました。



お気軽にご相談ください

パラリンピック聖火「杵築市の火」が白萩園を訪問しました

杵築市内の障害者支援施設入所者の願いを込めた短冊を焚き上げ採火した「杵築市の火」の訪問先として、障害者支援施設 白萩園が選ばれ聖火ビジットを行いました。

当日参加したご利用者は白萩園から東京パラリンピックの成功を祈り「杵築市の火」を送り出しました。

この「杵築市の火」は別府市にある社会福祉法人太陽の家で集火され大分県の聖火としてパラリンピック開催都市の東京都へ送り出されました。(8月16日)



「杵築市の火」を前に皆さん笑顔で記念撮影

コロナウイルス感染対策のため今年もリモートで行いました

別府大学が主催する「トップマネジメント講話」にみのり村から講師を派遣しました。

昨年度に引き続きの参加で今回は「地域を支える社会福祉法人の取り組み～

SDGsが目指す社会の実現へ～」をテーマに講義をさせていただきました。今回も新型コロナウイルス感染拡大に伴い別教室からリモートでの講義となりましたが200名を超える学生に参加して頂き、活発な意見交換ができました。

今後もこのような機会を通じて、社会福祉法人やみのり村の取り組みを知って頂き、普及啓発活動を展開してまいります。
(6月2日)



リモート講義をする大木施設長

個室ユニット型特別養護老人ホーム 菩提樹

～個人の尊厳に配慮した、快適で上質なサービスを目指して～



特別養護老人ホーム菩提樹
施設長 安部 一郎

Q1 今の仕事の面白い部分は？

私たちの大先輩方々に、感謝を込めて支援・介助のお手伝いをさせて頂いています。ご利用者と昔ながらの懐かしい会話をしているときは楽しいですね。ご利用者の笑顔を想像しながら、リクリエーション企画をしている時も楽しいです。仕事が楽しく感じるのは、仕事が面白いから！かも知れませんね。



体を動かしてコロナに打ち勝とう！

Q2 今チャレンジしたいことを教えてください。

今も、今後もですが、菩提樹をご利用いただいて「良かった～」と言って下さる施設にすることです。スタッフ全員一丸となってご利用者が常に安全で居心地の良い空間で楽しい生活を提供させて頂きます。

Q3 特別養護老人ホーム菩提樹を今後どう考えていますか？

「ご利用者・ご家族」「職員」「経営」の満足度向上が大事だと思います。特に職員が成長でき、意欲を持って働ける環境作りが、ご利用者・ご家族との関係が良くなり、良い支援につながると思います。「人が人を大事にする」「花のように“優しく誠実に”」を提唱し、施設に関わる全ての人に「ありがとう」と言って下さることで。



銀杏並木へお散歩



ユニットに「おかしワゴン」がやってきた



安部サンタクロースからプレゼント

次は
みのり学園です

ご利用者の安全を守る為に日出・杵築障がい福祉部、高齢者福祉部に見守りカメラを設置しました。建物内と屋外に設置し、何か起きた際にはより一層早急的確な対応ができるように努めてまいります。

見守りカメラを設置しました



白萩園玄関先の見守りカメラ



焼香をする大木理事長

第40回 みのり村初盆会法要

特別養護老人ホーム菩提樹2階パブリックスペースにて、第40回みのり村初盆会法要を行いました。今年度は新型コロナウイルス感染症予防策を講じた中で、法人内のご利用者17名の精霊を参加者全員でご供養させて頂きました。
(8月24日)

新型コロナウイルス ワクチン接種終了

今年の5月より入所のご利用者と職員に新型コロナウイルスワクチン接種を行い、希望者全員のワクチン2回接種が終了しました。コロナが一日でも早く終息することを願いながら、今後も引き続き感染対策を行ってまいります。



白萩園ワクチン接種会場の様子

＊みのり村入村式 辞令交付

本部ホールにて新型コロナウィルスの感染防止対策を講じ、新規卒者新人職員入村式を執り行いました。今年9名の新人職員が新たな一歩を踏み出しました。

理事長より辞令が交付され、新規卒者新人職員を代表して、益田旭さん（22歳）から「チャレンジ精神をもって何事にも取り組んでいきます。」と挨拶がありました。続いて、理事長より「一歩一歩着実に前に進み、5年、10年と継続して働くことで、みのり村の力になってください。」と訓示がありました。

（4月1日）



新人職員代表挨拶をする
益田 旭さん

よこまくら みずな
横枕 瑞奈

長所
真面目
最近ハマっていること
読書
好きな漢字 「平和」



つねかわ まい
恒川 麻衣

長所
真面目
最近ハマっていること
YouTube で動画を見たり音楽を聴くこと
好きな漢字 「平和」



やの ちはる
矢野 千晴

長所
元気で明るい
最近ハマっていること
写真を撮ること
好きな漢字 「快晴」



おしうみ もえ
鴛海 萌

長所
笑顔で人と接する事
最近ハマっていること
ドライブ
好きな漢字 「笑」



やました ゆずき
山下 柚希

長所
負けず嫌い
最近ハマっていること
第五人格（ゲーム）
好きな漢字 「笑」



わたなべ りょうこ
渡部 量子

長所
真面目
最近ハマっていること
K-POPアイドルを観ること
好きな漢字 「寝」



ますだ あさひ
益田 旭

長所
健康を保つことを意識しているところ
最近ハマっていること
Mr.childrenのCDを聴くこと
好きな漢字 「大自然」



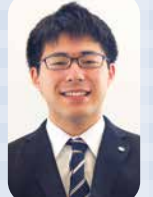
いまとみ ゆうだい
今富 雄大

長所
負けず嫌い
最近ハマっていること
映画鑑賞とバッティングセンター
好きな漢字 「映画鑑賞」



しょうの たいち
生野 太一

長所
興味があることにチャレンジできる
最近ハマっていること
アニメソングの練習
好きな漢字 「誠」



就活情報誌 BeCAL 掲載

大分インフォメーションハウスより10月発売の就活情報誌「BeCAL」が発売されました。みのり村の取り組みを、これから就職を目指す方にも分かりやすく掲載して頂きました。（10月1日）





令和2年度 収支決算



単位：円

貸借対照表の要旨	
科目	金額
資産の部	
流動資産	1,767,558,700
固定資産	1,841,921,337
その他の固定資産	2,732,416,916
資産の部合計	6,341,896,953
負債の部	
流動負債	143,651,333
固定負債	138,153,156
負債の部合計	281,804,489
純資産の部	
基本金	644,208,142
国庫補助金等特別積立金	611,422,878
その他の積立金	2,289,717,242
次期繰越活動増減差額	2,514,744,202
負債及び純資産の部合計	6,341,896,953

事業活動計算書の要旨		
科目		金額
増減	サービス活動収益	1,644,624,429
	サービス活動費用	1,455,749,566
	サービス活動増減差額	188,874,863
外増減	サービス活動外収益	14,898,420
	サービス活動外費用	1,363,315
	サービス活動外増減差額	13,535,105
特別増減	特別収益	14,110,519
	特別費用	15,687,600
	特別増減差額	-1,577,081
当期活動増減差額		200,832,887
繰越活動増減差額	前期繰越活動増減差額	2,325,667,723
	当期末繰越活動増減差額	2,526,500,610
	基本金取崩	0
	その他の積立金取崩	37,000,000
	その他の積立金積立額	48,756,408
	次期繰越活動増減差額	2,514,744,202

資金収支計算書の要旨		
科目		金額
事業活動による収支	事業活動収入	1,659,522,849
	事業活動支出	1,345,238,719
	事業活動資金収支差額	314,284,130
施設整備等による収支	施設整備等収入	13,639,600
	施設整備等支出	199,221,448
	施設整備等資金収支差額	-185,581,848
その他の活動による収支	その他の活動による収入	37,000,000
	その他の活動支出	58,368,192
	その他の活動資金収支差額	-21,368,192
当期資金収支差額合計		107,334,090
前期末支払資金残高		1,584,022,658
当期末支払資金残高		1,691,356,748

令和2年度事業報告書 (概要)

みのり村では、従来から取り組んでいる「ひとづくり」や「まちづくり」などの活動を継続することで、福祉サービスの質の向上や地域活性化・地域の福祉力強化を目指してきました。新型コロナウイルスの感染拡大が続く中、地域の方が安心して福祉サービスを利用できるように、事業継続計画（BCP）の整備を進めると共に、感染症対策を講じ事業運営を行ってきました。

1. 公益的取り組み

生活困窮者支援「おおいた“くらしサポート”事業」などの社会貢献事業を継続して取り組みました。みのり村地域交流事業の一部行事は感染対策を講じ実施し、ご利用者やご家族、地域の方々と交流を図りました。

また、70周年を迎えるにあたり、「アクト響ホール」の建設工事を開始しました。ご利用者の創作活動などに取り組む場として、さらに地域も含めた避難場所としての機能も持たせたいと考えています。

2. 福祉サービス力の向上

福祉サービスの質の向上を目的に毎年開催している「みのり村福祉QC研究発表会」は、例年より規模を縮小し、開催しました。その他に、ご利用者や職員の介護や支援の負担を和らげる「ノーリフティングケア」は菩提樹を中心に取り組んでいます。さらに、ICT化の取り組みとして、従来の介護記録ソフトから新しい記録ソフトへ更新し、高齢者ケアや請求業務の効率化を図りました。

3. 情報発信・広報活動

厚生労働大臣認定の『くるみん認定』や大分県認定『「おおいた働き方改革」推進優良企業』の表彰を受けることで、法人の取り組みを外部へ発信しました。また、「ほっとはーとOITA」では働き方改革の取り組みが紹介されました。その他にも「シティ情報おおいた」などの情報雑誌にて、事業や仕事内容など様々な情報を積極的に紹介しました。

収支決算の概要

令和2年度決算概要

- サービス活動収益は前年度とほぼ変わらずに推移した。
- 主な施設整備関係は、日出障がい福祉部の空調設備改修工事を行った。その他には杵築拠点の舗装工事や遊歩道整備を行った。
- 日出障がい福祉部の空調設備改修工事のため、第1みのり学園及びみのりスマイルにおいて積立金を取り崩した。
- 収入について（前年対比）
 - 就労支援事業は対前年度より減額となった。
 - 施設整備等補助金収益は新型コロナウイルス対策支援金を受けたことで、対前年度より増額となった。

令和3年度事業計画

「すべての世代を支える未来志向の地域共生福祉を目指す」を事業目標に、以下の重点テーマに取り組みます。

- 時代の変化に対応していくための福祉力向上
- SDGsと地域共生社会実現に向けた取り組み推進
- 地域社会の信頼と期待に応える法人としての発信力強化
- 福祉を支える人材の確保・育成の取り組み強化
- 経営の継続性・安定性への取組の強化

令和3年度は、新たな新中期事業計画（プラン2021）のもと、村一丸となって福祉を通じた地域共生社会実現に取り組めます。

令和3年6月からの 役員等体制をご紹介します

今後ともよろしくお願いたします。

理事長	大木 隆
副理事長	大石 悦生
常務理事	河野 節二
	大木昌太郎
理事	田代 重勝
	古庄せつ子
監事	広岡とよみ
	伊藤 義人
評議員	鈴木 明久
	田原 亨
	堀 勇
	川田 正美
	奥野 初子
	八坂 律子
	吉田ユリ子



稲刈りの様子

編集後記

銀杏が色付き始めると、今年も残り少ないことを実感します。春のつつじや秋の銀杏など敷地内に植えられている様々な樹々によって、私たちは日々沢山の自然の表情を見ながら四季を感じています。

今年、法人は70周年の節目を迎えました。今までの穏やかな日々感謝し、これからもこの豊かな自然と共に、未来に向けて新たな気持ちで歩み続けてまいります。(広報担当)

編集・発行／本部人事企画課

〒 873-0013
大分県杵築市大字日野 1921 番地の 7
電話：0978-66-1200
FAX：0978-62-2974
URL <http://www.minorimura.or.jp/>

※写真掲載には、
本人の了解を得ております。

令和3年度 人事発令

令和3年4月1日付

新	氏名	旧
日出障がい福祉部 拠点長	大木昌太郎	日出障がい福祉部 拠点長代理
日出障がい福祉部 みのりスマイル 就労支援課長	阿部 孝	日出障がい福祉部 みのりスマイル 所長補佐
本部 人事企画課 主幹	藤原 正教	本部 人事企画課 主任
杵築障がい福祉部 白萩園 施設サービス課 主任	永松いずみ	杵築障がい福祉部 白萩園 施設サービス課
日出障がい福祉部 地域支援課 Mプラザ hiji	小川 実紗	高齢者福祉部 菩提樹
日出障がい福祉部 総務課	小原木 茜	高齢者福祉部 総務課
日出障がい福祉部 総務課	木付 江美	杵築障がい福祉部 総務課
日出障がい福祉部 第2みのり学園	衛藤貢一朗	高齢者福祉部 菩提樹
日出障がい福祉部 第2みのり学園	三浦美佐子	日出障がい福祉部 第1みのり学園
日出障がい福祉部 みのりスマイル	佐藤 早苗	日出障がい福祉部 プリンちゃん
高齢者福祉部 地域支援課	下地 智子	菩提樹 施設サービス課
高齢者福祉部 総務課	後藤 琴音	本部 人事企画課
本部 人事企画課	深田 祥平	日出障がい福祉部 総務課

令和2年度 資格取得 奨励金 交付者一覧

所属	氏名	資格名
みのりスマイル	板倉 幸子	介護福祉士
菩提樹	尾花 淳貴	介護福祉士
	酒井 彩	介護福祉士

福祉サービス相談委員会 開催

令和3年度福祉サービス相談委員会を第三者委員、利用者・保護者委員ご出席のもと開催しました。委員会では解決責任者より、ご利用者やご家族、地域の方からの相談・要望への対応を報告いたしました。(7月20日)



デイサービスセンター空調設備改修工事が完了しました (6月28日工事完了)



検査の様子

